

(1)

$$\frac{1}{p} = \frac{1}{2+\sqrt{5}} = \frac{-2+\sqrt{5}}{-4+5} = -2+\sqrt{5} \text{ であるから } a_n = (2+\sqrt{5})^n + (2-\sqrt{5})^n$$

$$a_1 = (2+\sqrt{5}) + (2-\sqrt{5}) = 4 \quad \cdots \cdots (\text{答}) \quad a_2 = (9+4\sqrt{5}) + (9-4\sqrt{5}) = 18 \quad \cdots \cdots (\text{答})$$

(2)

$$\begin{aligned} a_1 a_n &= \{(2+\sqrt{5}) + (2-\sqrt{5})\} \{(2+\sqrt{5})^n + (2-\sqrt{5})^n\} \\ &= (2+\sqrt{5})^{n+1} + (2-\sqrt{5})^{n+1} + (2+\sqrt{5})(2-\sqrt{5}) \{(2+\sqrt{5})^{n-1} + (2-\sqrt{5})^{n-1}\} = a_{n+1} - a_{n-1} \quad \cdots \cdots (\text{答}) \end{aligned}$$

(3)

(2) より、 $n \geq 2$ において $a_1 a_n = 4a_n = a_{n+1} - a_{n-1}$ であるから $\therefore a_{n+2} = 4a_{n+1} + a_n \quad (n \geq 1)$ ——①

(1) より、 a_1, a_2 は自然数であるから、①より、以下帰納的に、 a_3, a_4, a_5, \dots も自然数であることがわかる。したがって、すべての n について、 a_n は自然数である。(証明終)

(4)

$a_2 = 18 = 2 \times 3^2$ と $a_1 = 4 = 2^2$ の最大公約数は、2 である。 $a_3 = 76 = 2^2 \times 19$ と a_2 の最大公約数は、2 である。すべての n について、 a_{n+1} と a_n の最大公約数は、2 であると予想されるので、数学的帰納法により示す。 $n=1, 2$ のとき成立。

$n=k$ のとき、 a_{k+1} と a_k の最大公約数が 2 であると仮定し、 $a_{k+1} = 2b_{k+1}$, $a_k = 2b_k$ とおく。

ここで、 b_{k+1}, b_k は、互いに素な自然数である。

$a_{k+2} = 4a_{k+1} + a_k = 2(4b_{k+1} + b_k)$ であり、 $4b_{k+1} + b_k$ と b_{k+1} の最大公約数を調べる。

$$4b_{k+1} + b_k = pk, \quad b_{k+1} = qk \text{ とおくと } 4qk + b_k = pk \quad b_k = (p-4q)k$$

これより、 k は b_{k+1}, b_k の公約数であるが、 b_{k+1}, b_k は互いに素であるから、 $k=1$ しかあり得ない。

$4b_{k+1} + b_k$ と b_{k+1} の最大公約数は 1 であり、 $4b_{k+1} + b_k$ と b_{k+1} は互いに素であることが示された。

したがって、 a_{k+2} と a_{k+1} の最大公約数は 2 であり、 $n=k+1$ でも成立。

以上により、 a_{n+1} と a_n の最大公約数は 2 $\cdots \cdots$ (答)